

事務事業名	生活道路整備事業	整理番号	33105-020
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

●事務事業の位置付け

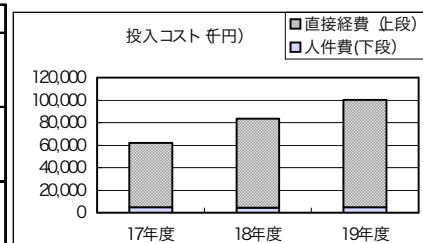
期間	平成17年度～平成21年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 3-3 歩行者と環境に配慮した交通体系の整備 政策 3-3-1 道路網の整備	関連政策	

●事務事業の内容

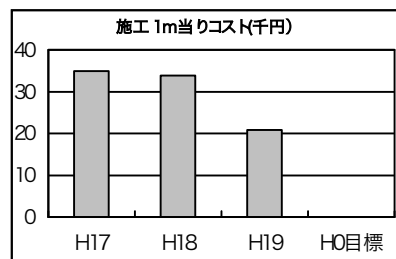
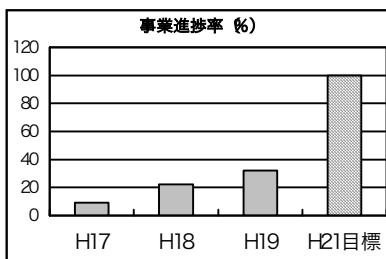
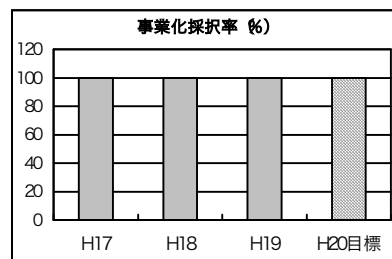
目的 (何のために)	市民生活の利便性を確保するため、現に住宅が立ち並んでいる地域において、幅員4m以上確保が困難な砂利道の市道を舗装整備する。
対象 (誰・何を)	沿線住民など
手段 (どのようなやり方で)	雨水排水の処理を考慮しながら、現状で舗装整備する。
成果 (どのような状態にしたいか)	歩行者等が通行しやすくなり、また、ほこりがたたくなくなり住環境が向上する。
事務事業の背景・住民の意向	幅員4m以下の道路は舗装整備されずにいるため、沿線住民から舗装の要望が多い。
見直し改善の経過	市街化区域内の舗装整備を進めていたが、平成17年度に要綱の見直しをし、調整区域をも含んで地元からの要望を改めて募り、その要望に対し以後5年間で重点的に舗装整備を行い、舗装率をアップさせる。

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	施工箇所 13路線、延長L=1,777.2m 外測量調査 要望路線数=142路線
平成18年度	施工箇所 23路線、延長L=2,334.0m 外測量調査 要望路線数=162路線
平成19年度	施工箇所 39路線、延長L=4,592.2m 外測量調査 要望路線数=231路線



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	★★★★★	確実に整備延長は、増えている。しかしながら要望箇所も増えており市民要望にこたえるためにも積極的に推進する。
	有効性	★★★★★	
	効率性	★★★★★	
一次評価	B	★★★★	今後の方向性 継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	B	☆☆☆	市民要望も高い。財源確保に努め、計画目標に沿った事業展開を図りたい。 今後の方向性 継続

●改革プラン

平成20年度からの対応	実施手法を一部改定したため、以前より事業が円滑に進むようになってきた。
平成21年度以降の対応	現状の方法で計画的に整備を進めていく。
改革により予想される成果	コストダウンにより事業の進捗が上がる。